

1週間後

私がアンナさんの
教育係を務める
レイです
よろしくね

私がしている
ことをみて
覚えてね!

はい!

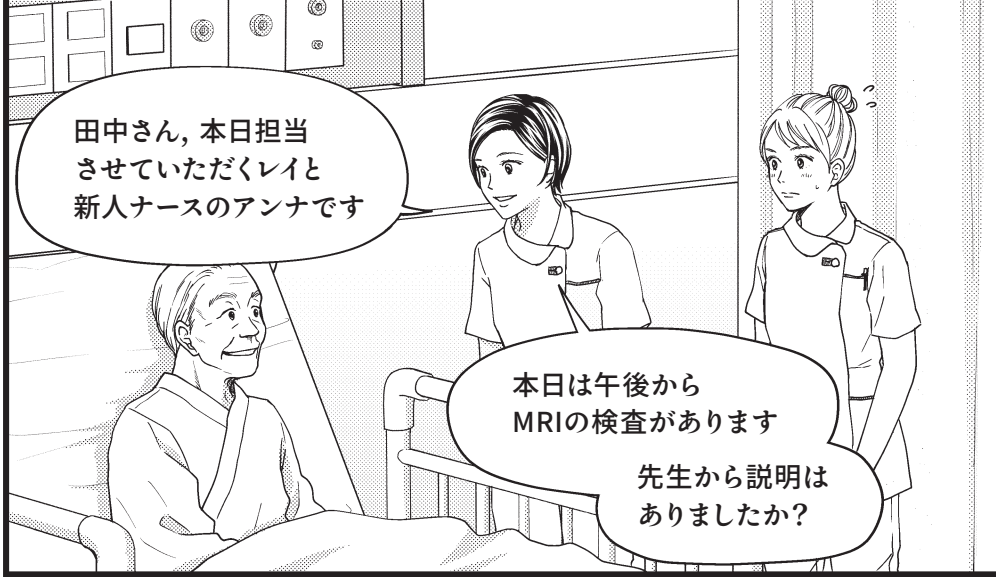
朝来たらまず
電子カルテから
患者さんの情報収集を
するのよ

担当患者さんは
5名よ

はい

夜勤者から
申し送り事項を
確認しましょう

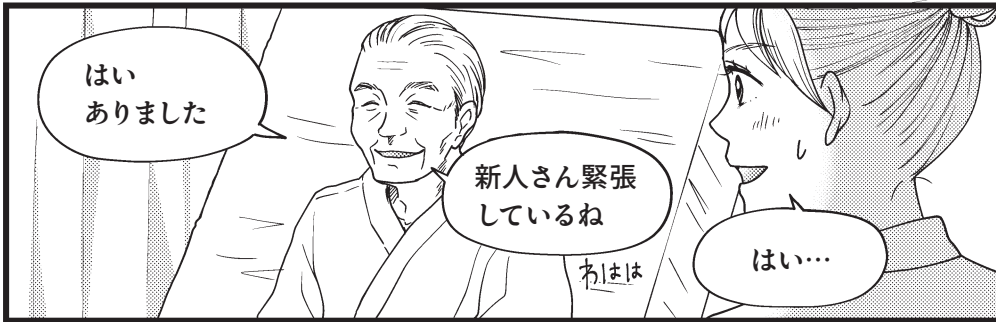
担当患者さん
にご挨拶と今日の
予定を伝えるの



田中さん、本日担当
させていただくレイと
新人ナースのアンナです

今日は午後から
MRIの検査があります

先生から説明は
ありましたか？

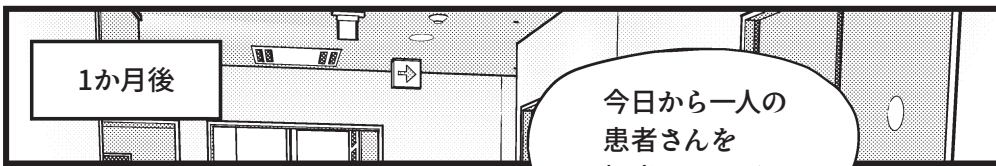


はい
ありました

新人さん緊張
しているね

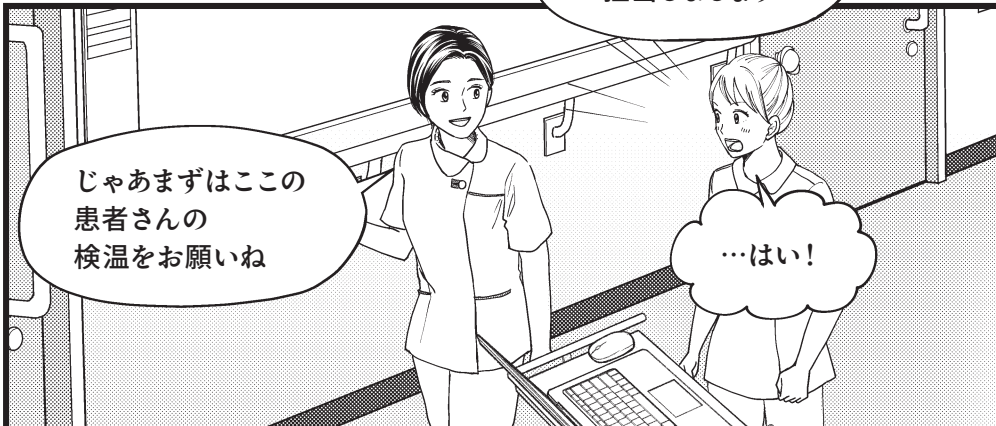
おはは

はい…



1か月後

今日から一人の
患者さんを
担当しましょう



じゃあまずはこの
患者さんの
検温をお願いね

…はい!

確認しよう! 手指衛生の方法とタイミング

標準予防策① 手指衛生

手指衛生の目的と重要性

手指衛生は、感染対策のなかで最も効果的で、毎日行う基本的な対策です。手を洗うことや手指を消毒することは特別なことではなく、医療従事者として安全な医療やケアを提供するために、日常業務の1つとして必ず行う責任もあります。

手指衛生の目的は、①手指に付着した病原体を取り除くこと、②手指を介した交差感染を防ぐこと、③自分自身を感染から守ることです。「手指衛生」には、流水と液体石けんを用いて行う「手洗い」(図1)と、速乾性擦式手指消毒薬を用いて行う「手指消毒」(図2)があり、ケアの状況に応じて、手洗いと手指消毒を自ら判断して使い分ける必要があります。そのため、手洗いと手指消毒の方法と、どのタイミングで行うのかをしっかりと理解し、実施できるようにしましょう。



図1 流水と液体石けんを使った「手洗い」



図2 速乾性擦式手指消毒薬を使用した「手指消毒」